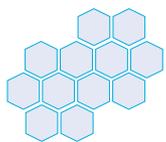


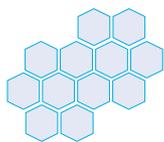
2019年2月期 決算説明会

2019年4月24日

代表取締役社長 河田 淳



1.	2019年2月期 決算概要	… P.3
2.	2020年2月期 業績見通し	… P.21
3.	中本グループを取り巻く状況と 2020年2月期 重点取り組み	… P.25
4.	参考資料	… P.42





2019年2月期 決算概要

2019.2期連結業績 3期連続増収増益、過去最高を更新

2019.2期の連結売上高、連結営業利益は**増収増益**。利益面では計画を上回る着地

連結売上高:33,942百万円(前期比+2.9%)

連結営業利益:1,645百万円(同+23.6%)

食品関連においてコンビニ関連での取引拡大に加えて、IT・工業材関連では、上期はスマホ関連、下期は半導体関連での需要を着実に取り込むことが出来た

埼玉第三工場が完成し量産稼働開始

完成実物写真



2018年9月末完成

2018年9月:工場完成

2019年2月:各種行政認可も完了

2019年3月:テスト稼働を開始

2019年4月:量産稼働を開始

2019年6月:フル稼働を予定

- 滄州工場は当初計画から大きく遅延したが、許認可関係の問題をクリア
- 米営業拠点とは2018年7月に営業を開始、倉庫を3か所に増やし、順調に拡大中

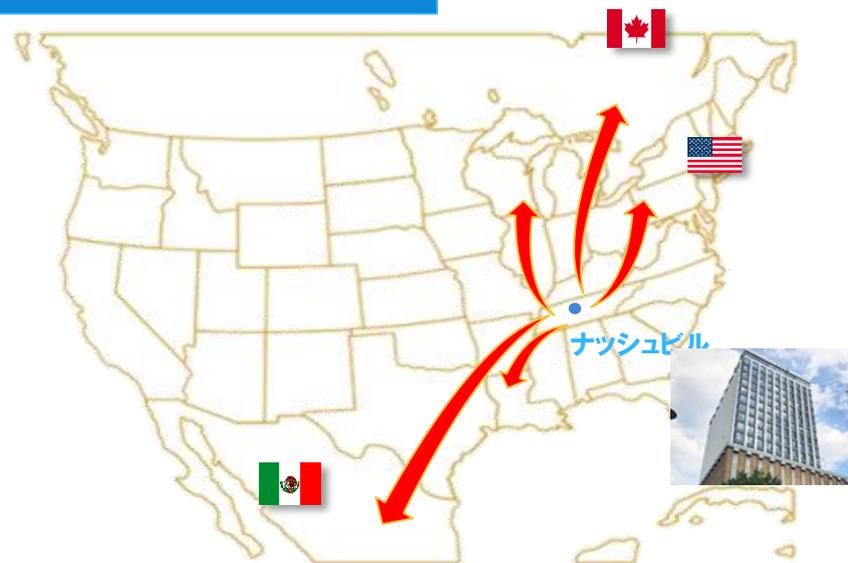
廊坊から滄州への生産移管



【滄州中本華翔新型材料有限公司】

2019年1月：工場完成
2019年3月：テスト稼働開始
2019年6月：量産稼働開始

米ナッシュビルに新会社



【米国ナッシュビル営業事務所】

2018年7月：米国での営業開始
（営業事務所と倉庫1か所）
2019年2月：順調に受注を重ね、倉庫が
3か所に増加

2018年9月に特殊用途に対するソリューションを提供する「市場開発室」を新設。
顧客に近い営業部門との情報連携により、新規ビジネスへの参入を進めている

建材関連

スプレーコーター

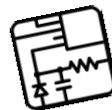
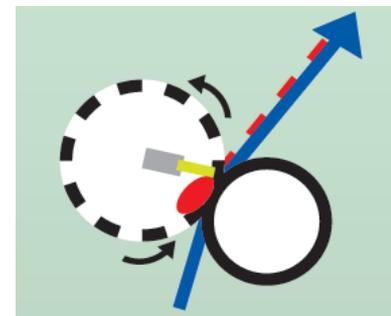


- 2019年1月に中本印書館で本格稼働開始。
- より複雑な形状の印刷面の表現するために用いられる。
- 衛生機器メーカー等との開発案件の取り組みを本格化。

IT・工業材関連

Roll to Rollで連続加工

ロータリースクリーン



- 2018年9月に名張工場に新規に導入。
- 今後、更なる市場拡大が期待されるウェアラブルセンサーや回路基板などのパターン印刷の獲得を狙う。

決算ハイライト

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2018.2期 実績	2019.2期					
		実績	前期比		計画	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	32,981	33,942	+961	+2.9%	34,500	▲557	▲1.6%
売上総利益	4,904 (14.9%)	5,287 (15.6%)	+382	+7.8%	5,300 (15.4%)	▲12	▲0.2%
販管費	3,573 (10.8%)	3,642 (10.7%)	+69	+1.9%	3,800 (11.0%)	▲157	▲4.2%
営業利益	1,331 (4.0%)	1,645 (4.8%)	+313	+23.6%	1,500 (4.3%)	+145	+9.7%
経常利益	1,486 (4.5%)	1,684 (5.0%)	+197	+13.3%	1,600 (4.6%)	+84	+5.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	981 (3.0%)	1,156 (3.4%)	+174	+17.8%	1,000 (2.9%)	+156	+15.7%

研究開発費	76	67	▲8	▲11.6%	80	▲12	▲15.6%
設備投資額*	1,156	1,560	+403	+34.9%	2,450	▲890	▲36.3%
減価償却費	940 (2.9%)	872 (2.6%)	▲68	▲7.3%	968 (2.8%)	▲96	▲10.0%

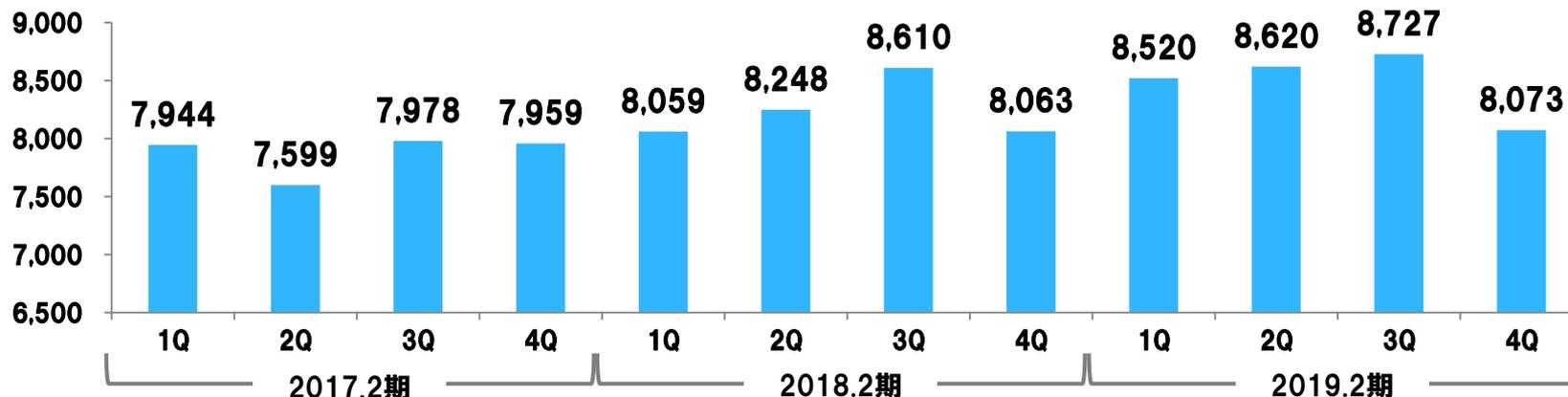
*:設備投資額には建設仮勘定は含まない

(注)換算レート 2019.2期 16.16円/元

四半期業績推移

【連結売上高】

(単位:百万円)



【連結営業利益】

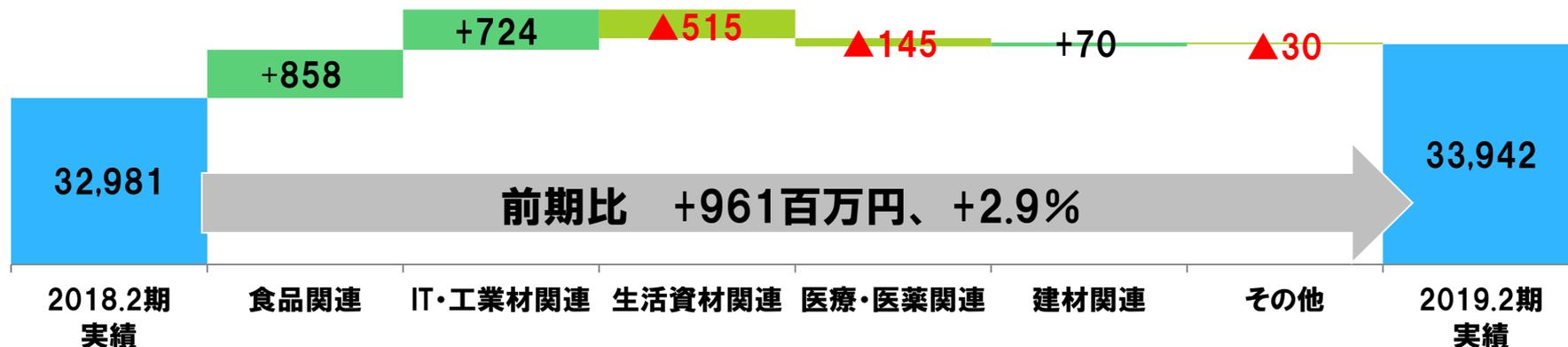
(単位:百万円)



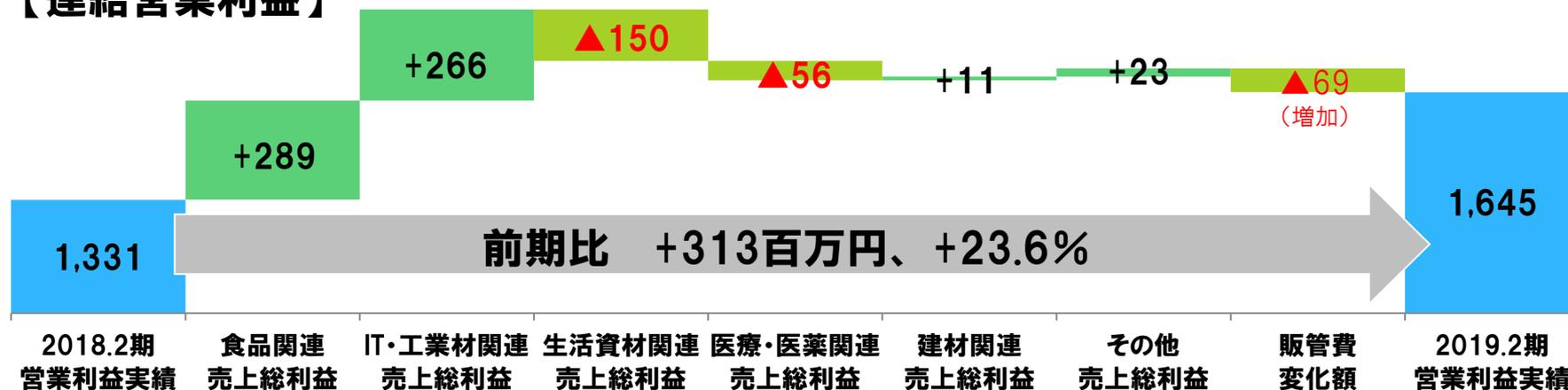
売上高・営業利益増減要因（前期比）

（単位：百万円）
※百万円未満切捨

【連結売上高】



【連結営業利益】



売上高・営業利益増減要因（計画比）

【連結売上高】

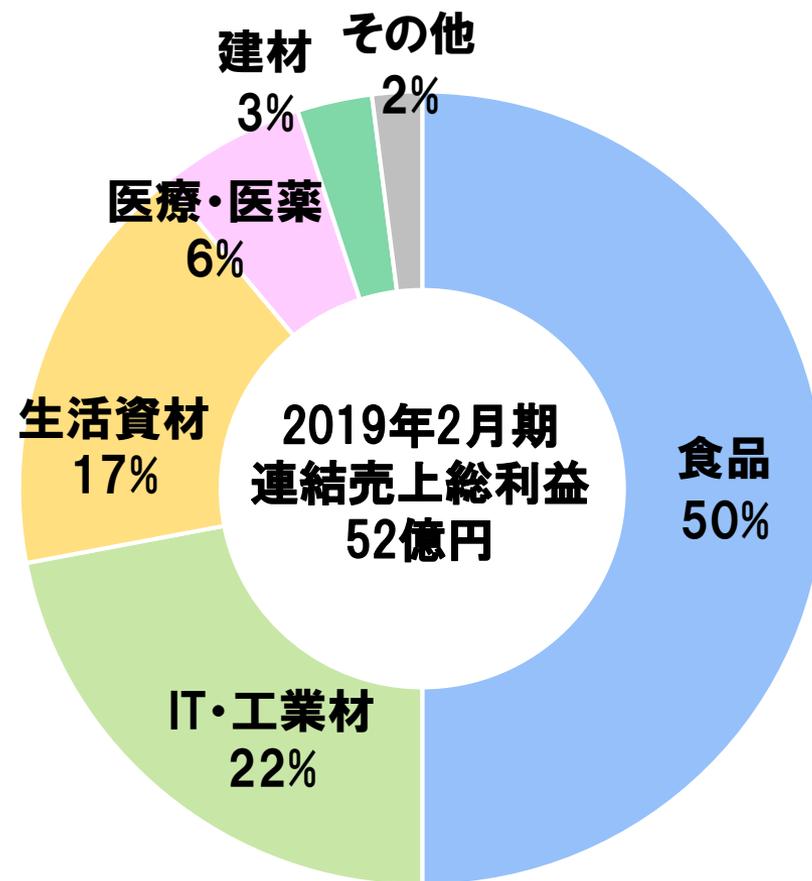
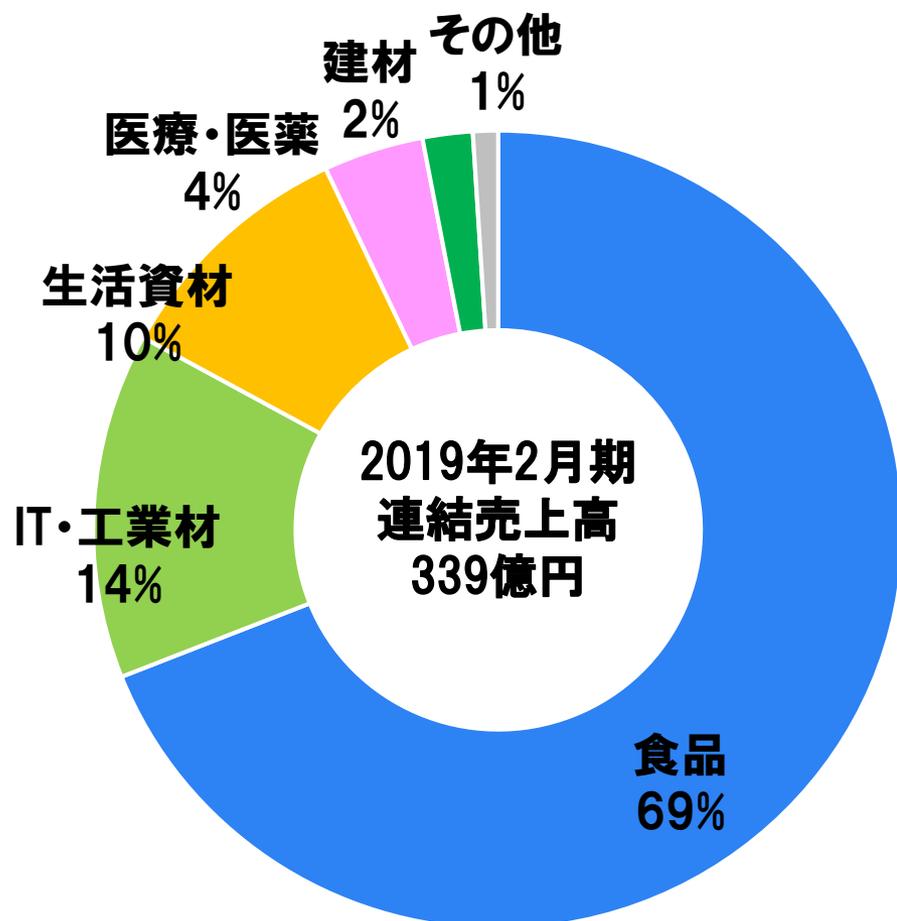
（単位：百万円）
※百万円未満切捨



【連結営業利益】

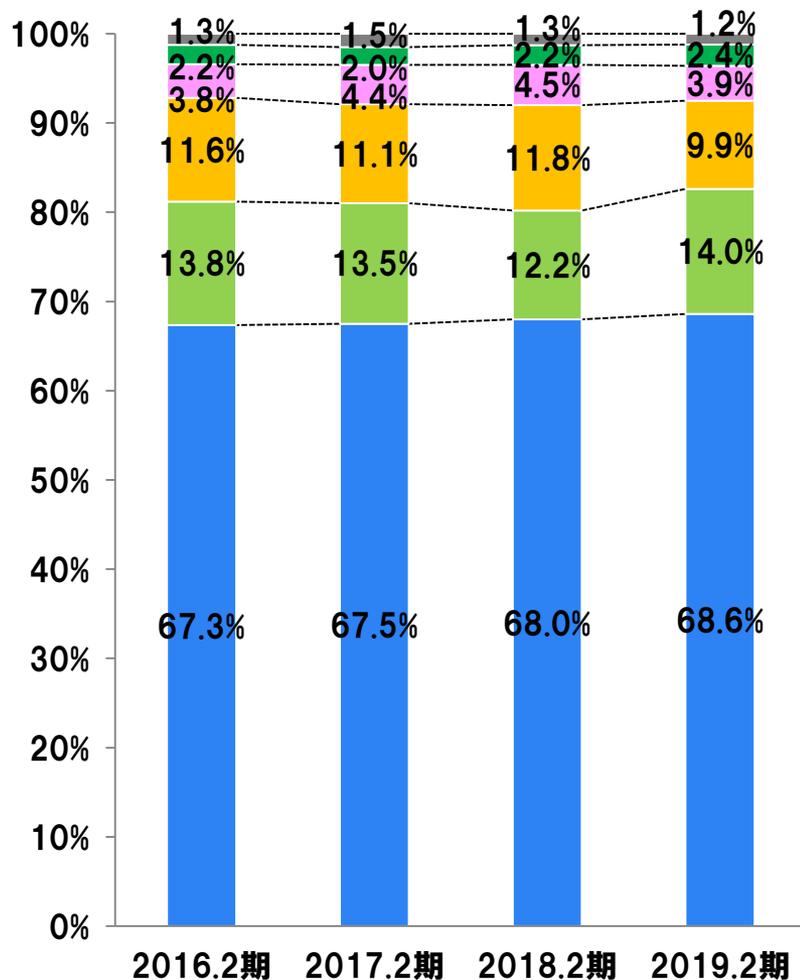


用途分類別売上高と売上総利益比率



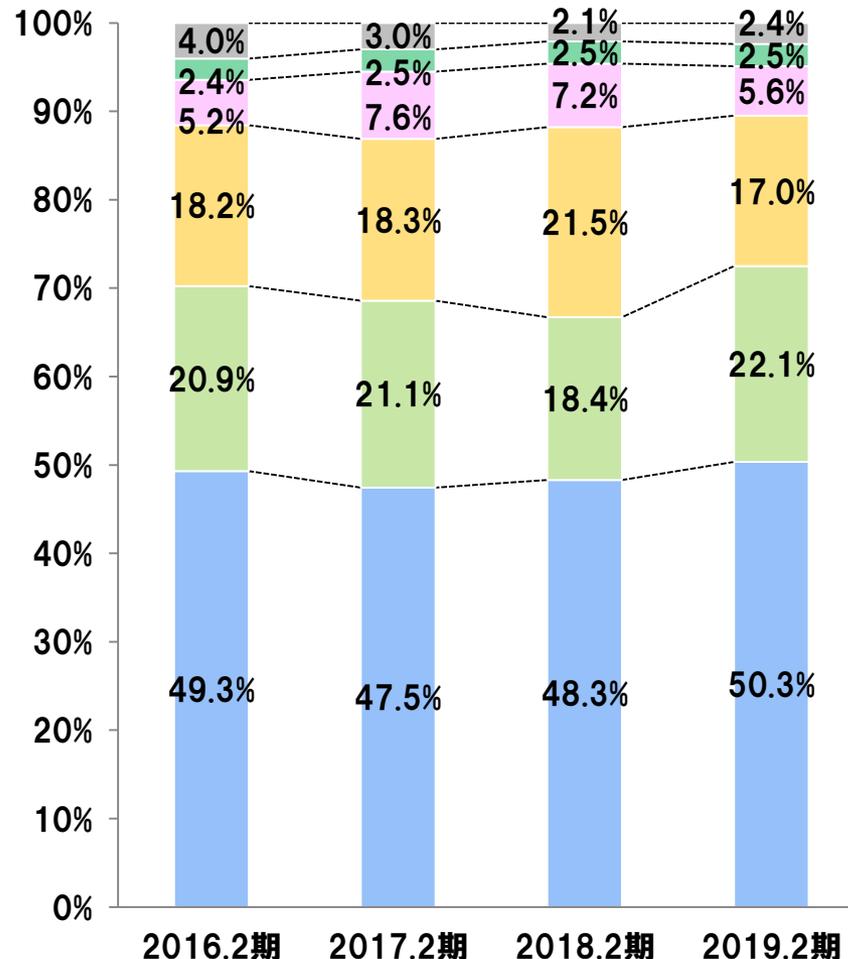
用途別売上高・売上総利益構成比の推移

連結売上高



■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 医療・医薬 ■ 建材 ■ その他

連結売上総利益

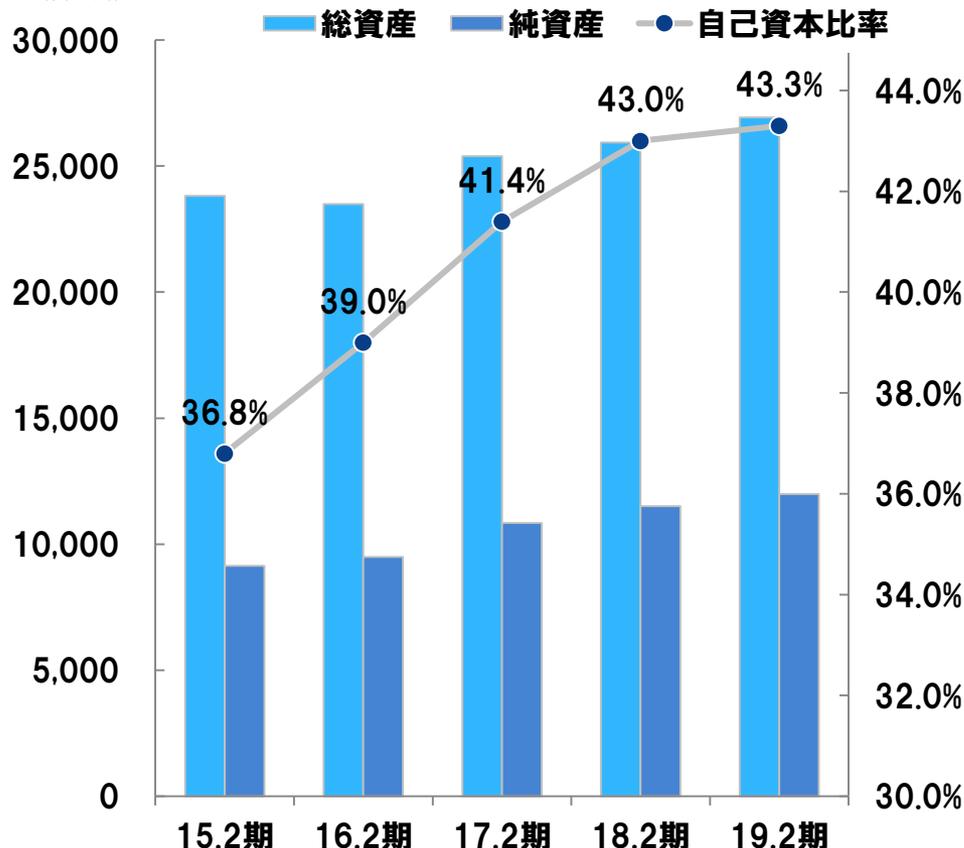


■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 医療・医薬 ■ 建材 ■ その他

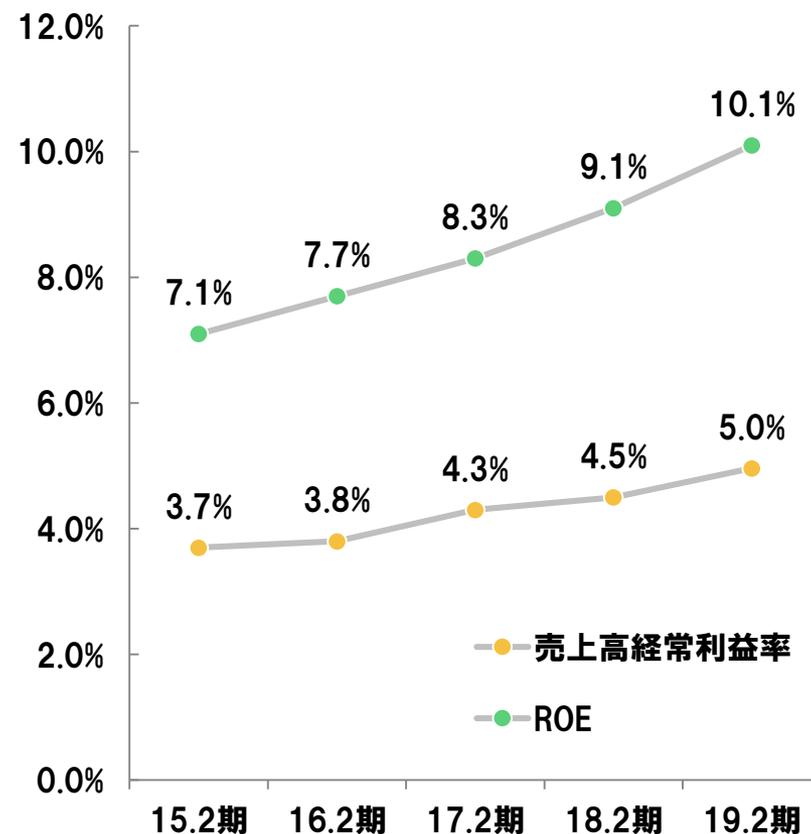
堅調な業績を背景に、財務基盤がより充実

総資産・純資産・自己資本比率

(百万円)

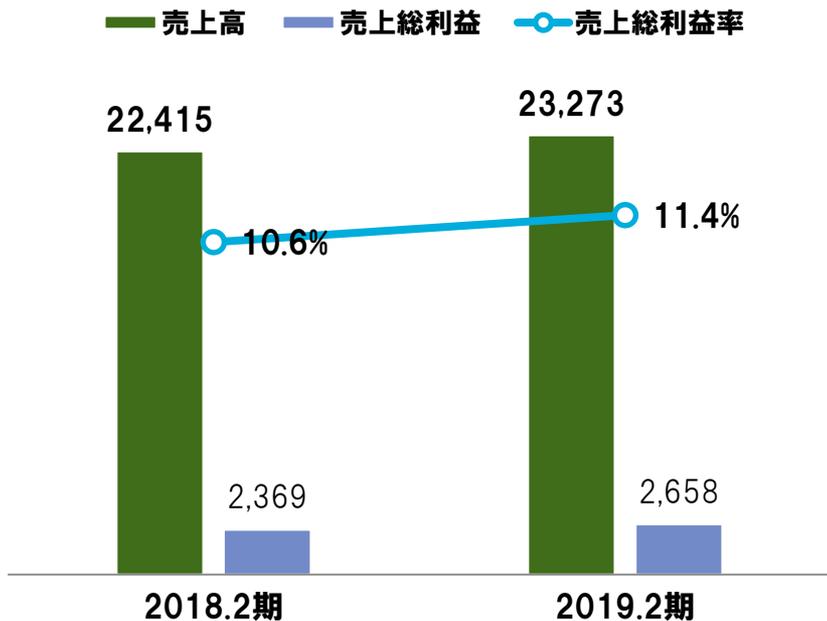


売上高経常利益率・ROE



食品関連

(単位:百万円)



当社製品 採用例



パスタ容器



弁当容器 イメージ

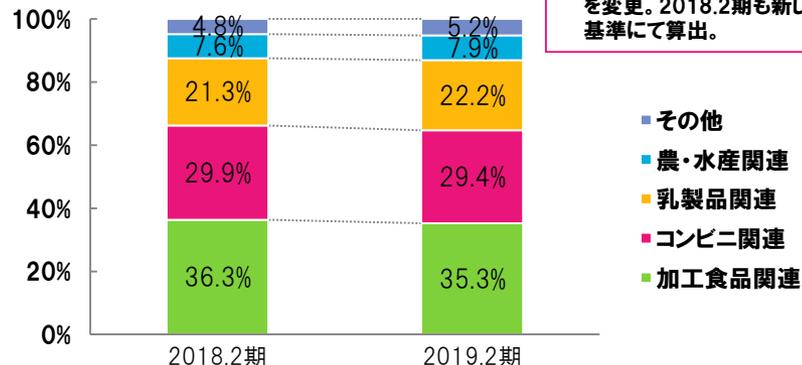


飲料蓋

■ 主要製品別販売状況

加工食品関連	・豆腐や冷凍食品の包装材料などが堅調に推移
コンビニ関連	・コンビニエンスストア自体の売上増を背景に、 ・パスタ、弁当関係の受注が好調
乳製品関連	・ヨーグルト、チーズが堅調に推移
農・水産関連	・トマト、キウイなどの農産物用フードパックを予定通りに受注

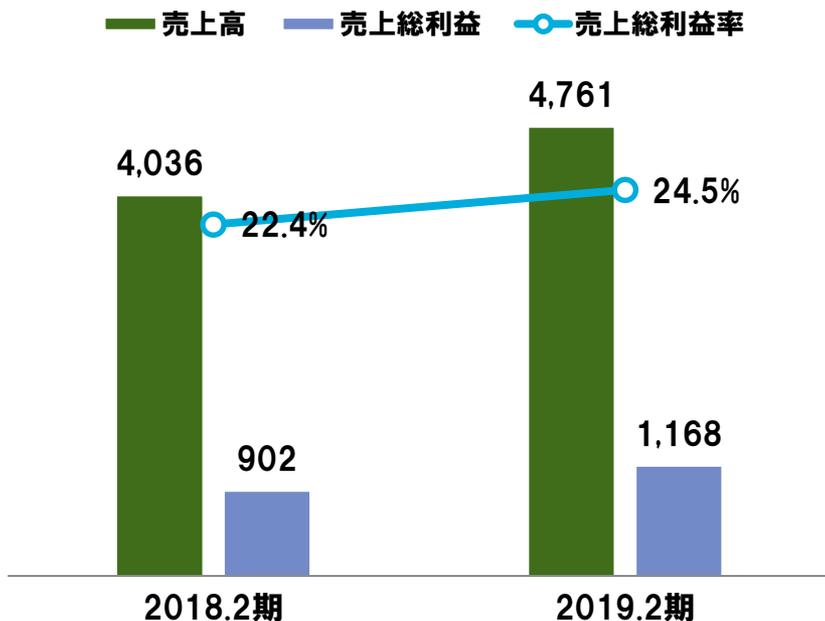
■ 主要製品別販売構成比(連結)



※2019.2期より区分の基準を変更。2018.2期も新しい基準にて算出。

IT・工業材関連

(単位:百万円)



当社製品 採用例



各種工程フィルム

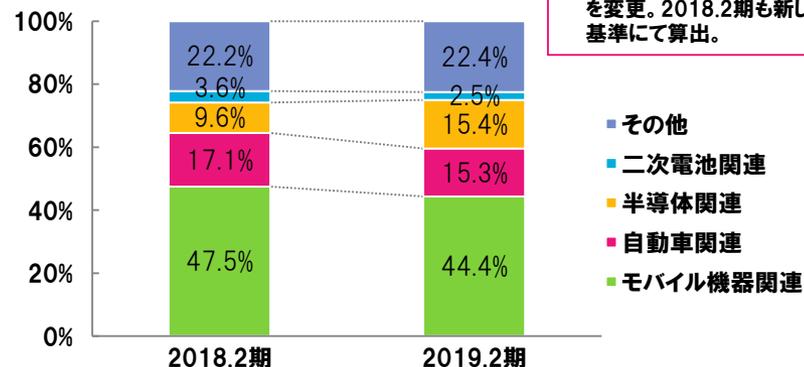


NSセパ

■ 主要製品別販売状況

モバイル機器関連	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期にスマホ向け大型案件を受注 ・遮光フィルム印刷も好調
自動車関連	<ul style="list-style-type: none"> ・現行品の受注は堅調に推移
半導体関連	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品製造工程に使用するフィルム受注が好調
二次電池関連	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルチェンジの影響で当社受注分は減少
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・導電加工、電線被覆フィルム、工業用テープ等は横ばい

■ 主要製品別販売構成比(連結)



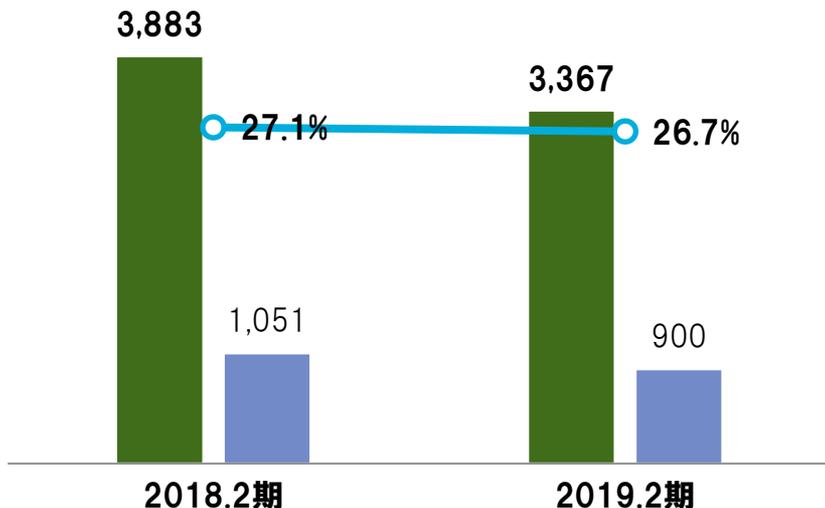
※2019.2期より区分の基準を変更。2018.2期も新しい基準にて算出。

用途別状況 生活資材関連

生活資材関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ○ 売上総利益率



当社製品 採用例



防虫圧縮袋

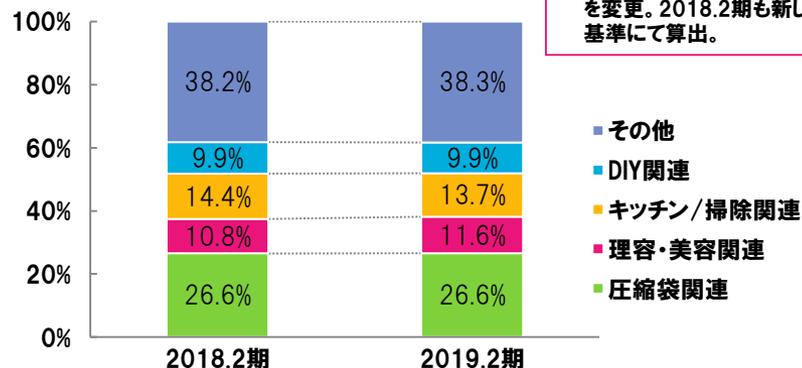


DIY商品
(モザイクタイル)

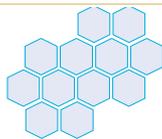
■ 主要製品別販売状況

圧縮袋関連	・年間を通して伸び悩んだが、年度末にかけて新規取引先を獲得するなど回復の兆し
理容・美容関連	・毛染関連(くし、手袋)は堅調に推移
キッチン/掃除関連	・キッチン関連が低価格品中心の動きとなり減少
DIY関連	・好調に推移していたモザイクタイル販売の需要が一巡し、ほぼ横ばいで推移
その他	・雑貨用ラベル向けフィルムが堅調に推移 ・季節商品は新商材投入で微増

■ 主要製品別販売構成比(連結)



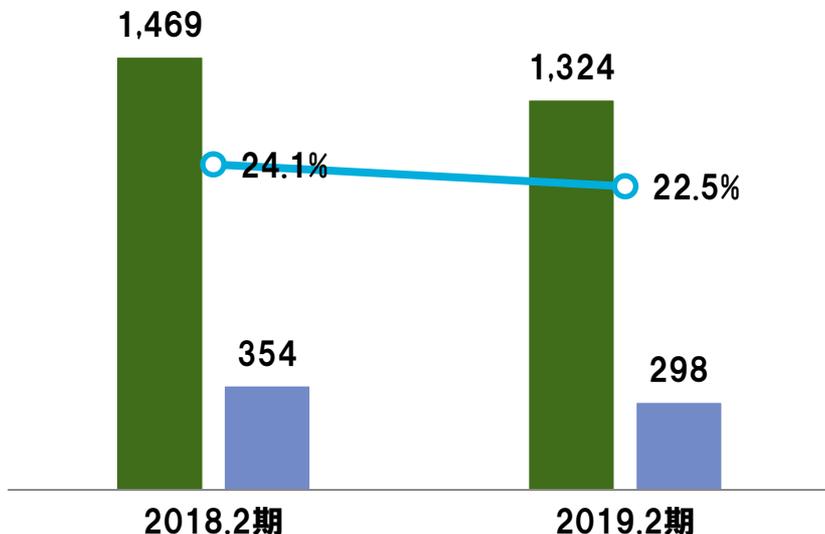
※2019.2期より区分の基準を変更。2018.2期も新しい基準にて算出。



医療・医薬関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ○ 売上総利益率



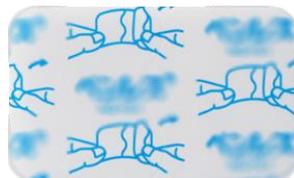
当社製品 採用例



貼付剤外装袋



絆創膏

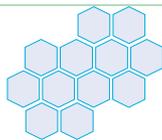
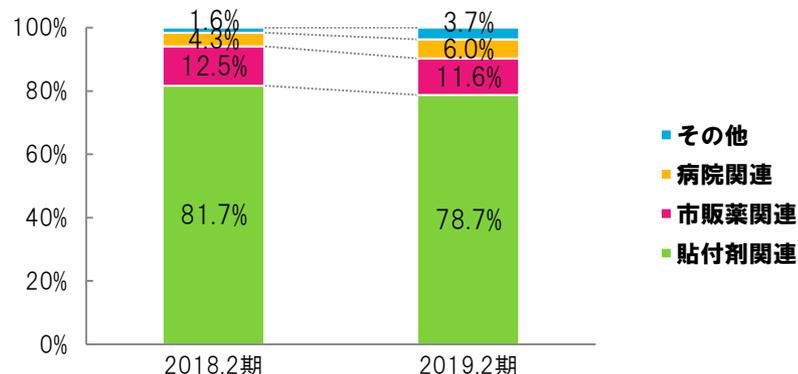


麻酔テープ

■ 主要製品別販売状況

貼付剤関連	<ul style="list-style-type: none"> 貼付剤用離型フィルムはジェネリック医薬品向けが堅調に推移した一方で、先発医薬品向けはジェネリック医薬品におされたため、物量には変化はないものの、売上・利益ともに減少
市販薬関連	<ul style="list-style-type: none"> 一般市販薬用包装材が減少
病院関連	<ul style="list-style-type: none"> 病院向け備品の包装材を中心に微増

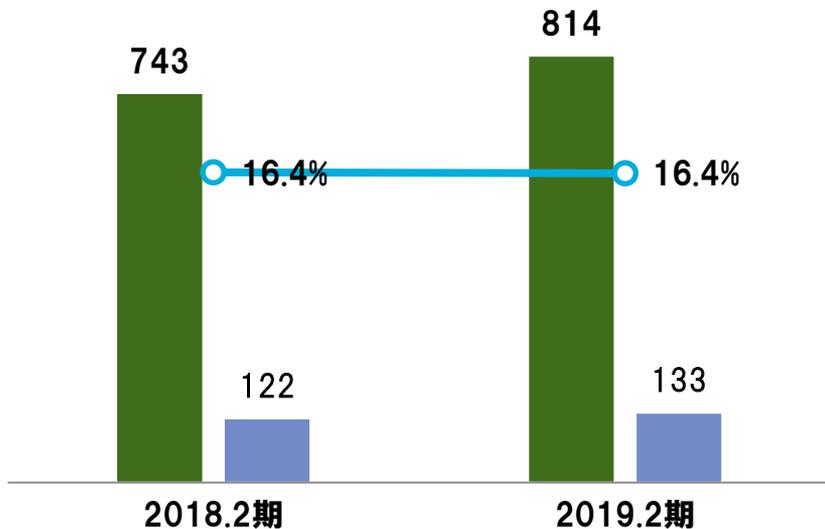
■ 主要製品別販売構成比(連結)



建材関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ○ 売上総利益率



当社製品 採用例



キッチン



クローゼット

■ 主要製品別販売状況

住宅関連

- ・ 壁紙・キッチン関係で化粧シート、自社製品のNコートを使用した化粧フィルムが好調
- ・ ふすま、障子紙等、和室関係は低調

家具関連

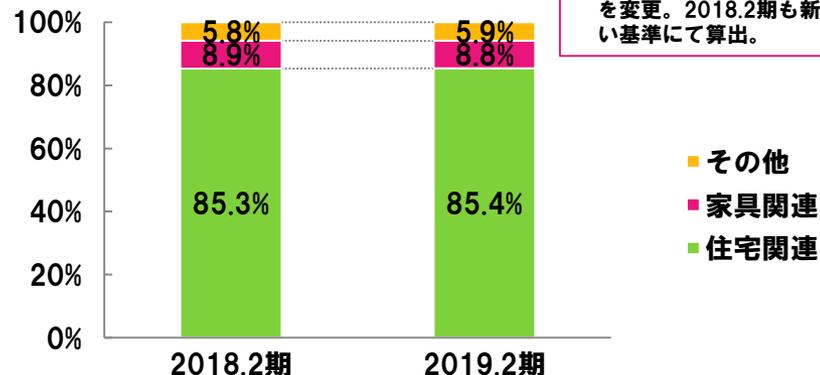
- ・ インテリア通販家具向けで新規受注
- ・ 海外家具向け(輸出)が反転増加

■ Nコート

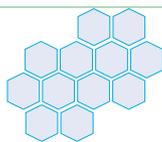
Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を活かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。



■ 主要製品別販売構成比(連結)



※2019.2期より区分の基準を変更。2018.2期も新しい基準にて算出。



資産・負債の状況

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2018.2末	2019.2末		
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	14,154 (54.6%)	13,912 (51.7%)	▲242	現金及び預金 ▲569、電子記録債権 +87 受取手形・売掛金 +53、棚卸資産 +157
固定資産	11,781 (45.4%)	13,016 (48.3%)	+1,235	有形固定資産 +1,122 無形固定資産 +171
資産合計	25,935 (100.0%)	26,929 (100.0%)	+993	
流動負債	11,664 (45.0%)	12,227 (45.4%)	+563	電子記録債務 +230 短期借入金 +263、未払法人税等 +93
固定負債	2,761 (10.6%)	2,717 (10.1%)	▲43	長期借入金 ▲16 退職給付に係る負債 ▲23
負債合計	14,425 (55.6%)	14,945 (55.5%)	+519	
純資産合計	11,509 (44.4%)	11,984 (44.5%)	+474	利益剰余金 +707 その他有価証券評価差額金 ▲82、為替換算調整勘定 ▲95
負債・純資産合計	25,935 (100.0%)	26,929 (100.0%)	+993	
ネット有利子負債	2,987 (11.5%)	3,787 (14.1%)	+800	現金及び預金 ▲569 短期借入金 +263、長期借入金 ▲16

ネット有利子負債=(有利子負債-現金及び預金)

キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位：百万円)

		2018.2期 実績	実績	2019.2期
				概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,499	2,029	税金等調整前当期純利益 1,642 減価償却費 872 運転資本の増減額 ▲97 法人税等の支払額 ▲375	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,199	▲2,348	有形固定資産の売却による収入 15 有形固定資産の取得による支出 ▲2,118 無形固定資産の取得による支出 ▲214	
フリー・キャッシュフロー	299	▲318		
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲492	▲213	短期借入金の純増額 279 長期借入れによる収入 830 長期借入金の返済による支出 ▲861 配当金の支払額 ▲449	
現金及び現金同等物の換算差額	7	▲37		
現金及び現金同等物の増減額	▲184	▲569		
現金及び現金同等物の期首残高	3,769	3,585		
現金及び現金同等物の期末残高	3,585	3,015		



2020年2月期 業績見通し

当期の業績見通し

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2019.2期 実績	計画	2020.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上高	33,942 (100.0%)	36,200 (100.0%)	+2,257	+6.6%
売上総利益	5,287 (15.6%)	5,800 (16.0%)	+512	+9.7%
販管費	3,642 (10.7%)	4,020 (11.1%)	+377	+10.4%
営業利益	1,645 (4.8%)	1,780 (4.9%)	+134	+8.2%
経常利益	1,684 (5.0%)	1,850 (5.1%)	+165	+9.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,156 (3.4%)	1,270 (3.5%)	+113	+9.8%

想定為替レート 16.3円/元

設備投資・減価償却費 計画

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2019.2期 実績	計画	2020.2期	
			前期比	
			差額	比率
設備投資額	1,560 (4.6%)	1,179 (3.3%)	▲381	▲24.4%
減価償却費	872 (2.5%)	1,160 (3.2%)	+288	+33.1%
研究開発費	67 (0.2%)	101 (0.3%)	+33	+49.7%

【2020.2期の主な設備投資】

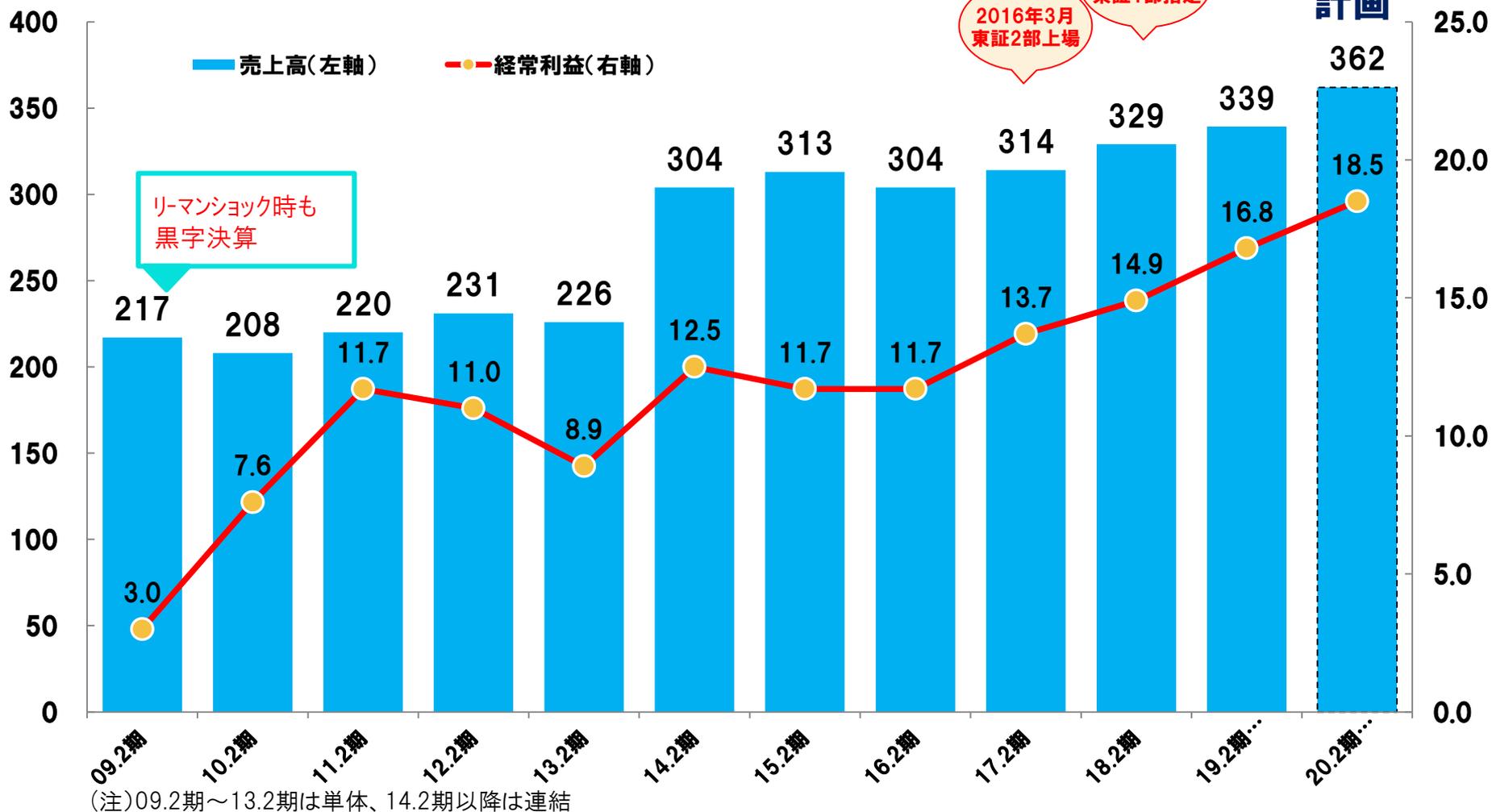
件名	内容	投資金額(億円)
工場・設備改修	ドライラミネート機(筑波)、工場改修(筑波・蘇州)	約3.0億円
検査機器・制御関係	検査機器(埼玉・名張・開発技術)	約1.1億円
空調関連	空調設備・フィルター他(埼玉・柏原・竜ヶ崎・製版)	約1.1億円
IT化・マテハン機器	在庫管理・生産管理・搬送装置(埼玉・名張)	約0.6億円
その他	新設生産機器その他等	約6億円

全天候型経営で安定成長

(億円)

中本パックスグループ 長期業績推移

(億円)



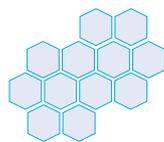


中本グループを取り巻く状況と 2020年2月期の重点取り組み

1. 少子、高齢化による人口減少
2. 地球温暖化、大気汚染防止、海洋廃棄プラスチック問題等の環境問題
3. 中国の環境対策による中国工場の操業不安定リスク
4. 米中貿易摩擦、政治不安による世界経済の景気後退



全天候型経営による収益の拡大、安定成長が必要

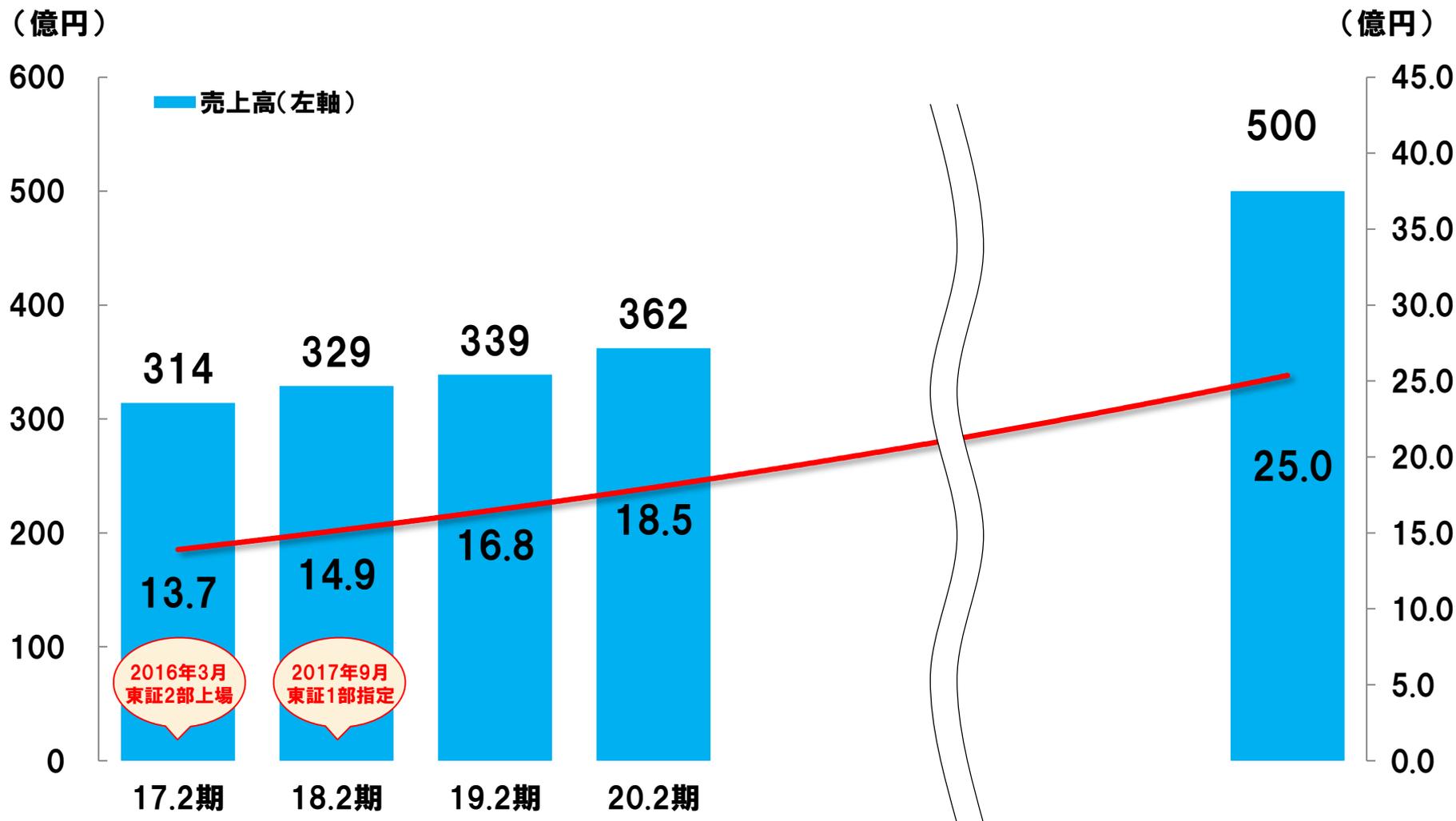


- 1. 収益力向上による会社規模の拡大と安定経営**
- 2. 環境経営の推進とNブランドの拡販**
- 3. エンジニアリング部発足による、事業強化とスピードUP**
- 4. 海外事業の拡大(チャイナプラスワン、北米市場での販売強化)**
- 5. M&Aの積極活用(新事業、人、物、技術、時間を買い、事業拡大)**
- 6. 次期システム導入による省力化、コストダウン、効率化の推進**

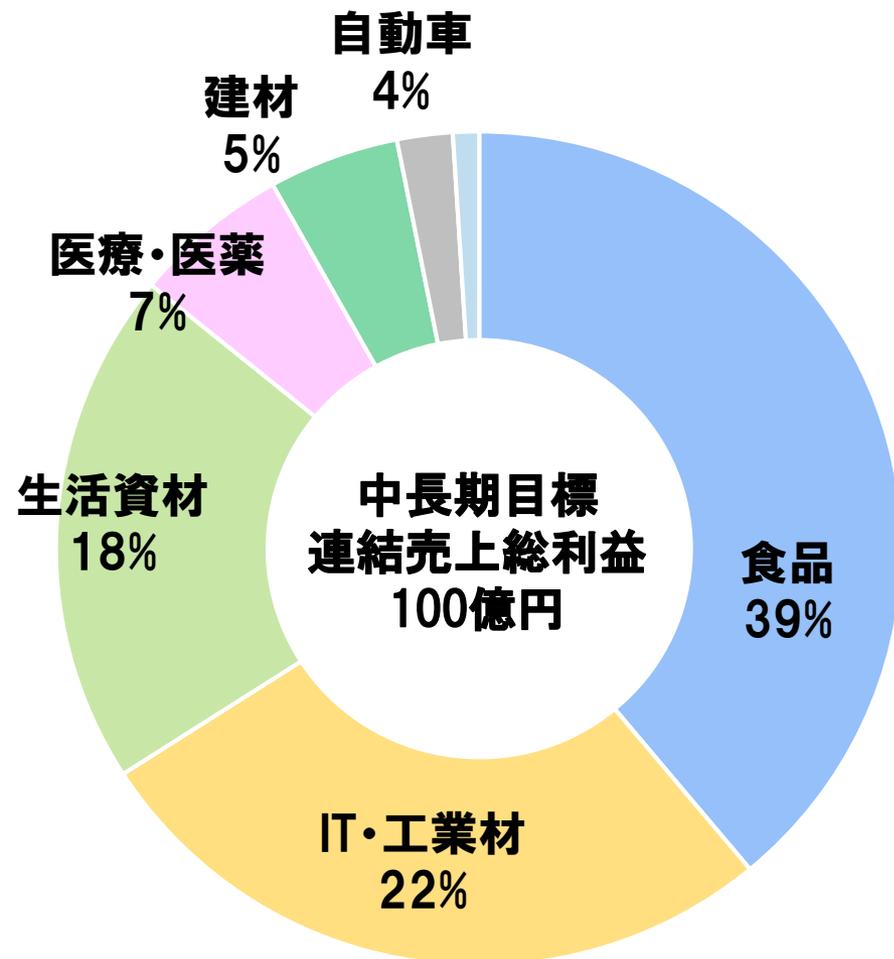
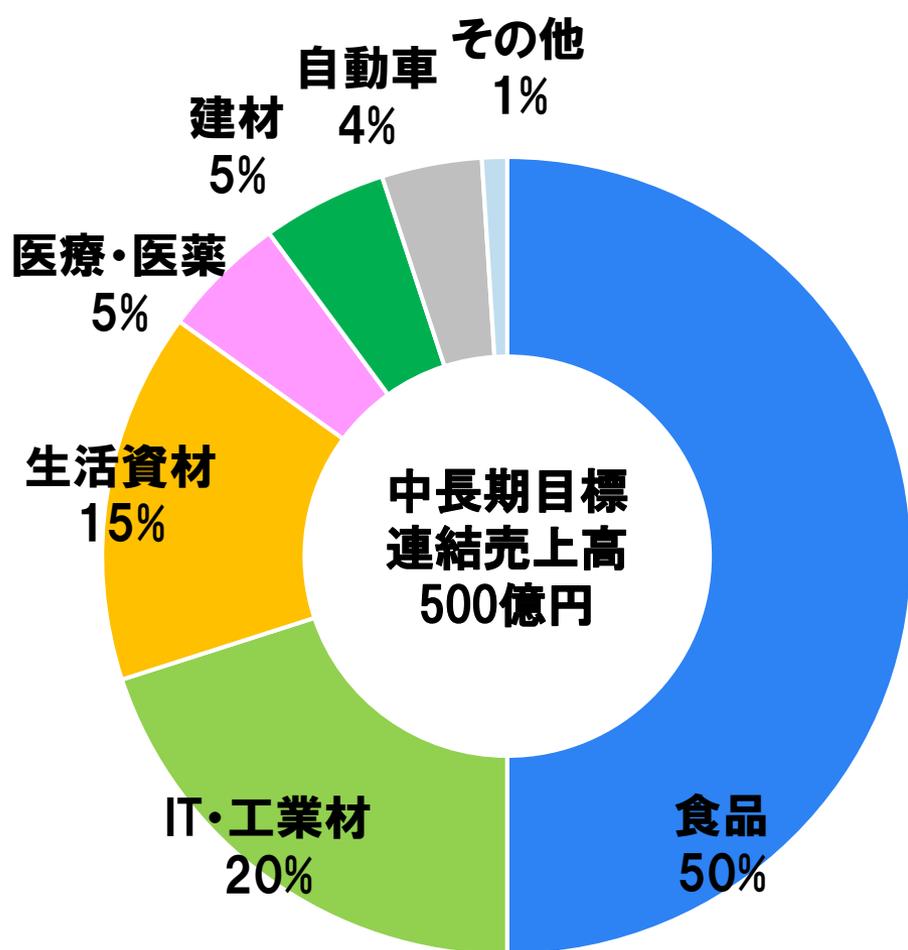
収益力向上による会社規模の拡大と安定経営

収益力向上による規模の拡大

中長期目標：売上高500億円 経常利益25億円を目指す



食品も伸ばしながら、他の分野を伸ばして収益バランスを整える



環境経営の推進とNブランドの拡販

■ 各製品の特徴を生かした用途拡大に注力していく

NAK-A-PET

食品関連

特徴

- ① 高剛性なので薄肉化が可能(省資源、コストダウン可能)
- ② 通常のA-PETより耐熱性が高い(70~100℃)
- ③ リサイクル可能な素材、環境及び食品衛生等に配慮した設計

用途

主に菓子、農産物などのトレイ

戦略

薄肉・高剛性の性質を訴求し、OPPSシートからの置き換えを強力に推進



NC-PET

食品関連

特徴

- ① 耐熱性に優れている(220℃(但し成型条件による))
- ② 耐寒性、保香性、剛性も高い

用途

主にグラタン等の焼成メニューや機内食などの容器

戦略

飛行機の機内食向けの採用に尽力



NS-PET

食品関連

医療・医薬関連

特徴

- ① PETフィルムだがヒートシールが可能
- ② 保香性が有り、コーヒー等強い香りをバリアすることが可能
- ③ 耐熱性が有り、電子レンジ対応が可能

用途

主に揚げ物惣菜のテイクアウト用袋、防虫剤包材

戦略

耐薬品性が重視される防虫剤包材用途へのアプローチ拡大

従来品



NS-PET使用の袋



■ 各製品の特徴を生かした用途拡大に注力していく

NSセバ	IT・工業材関連	医療・医薬関連	
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ① 徹底したクリーン環境を実現した製造ラインにて一貫製造 ② 多様な用途に対応する製品ラインナップ ③ 他社にない剥離力の設計やフィルム選定などカスタマイズ可能 	
	用途	主に電子部材製造工程用フィルム、医薬貼付剤	
	戦略	ラインアップの拡充、小ロット・短納期への対応	



工業材用途



貼付剤

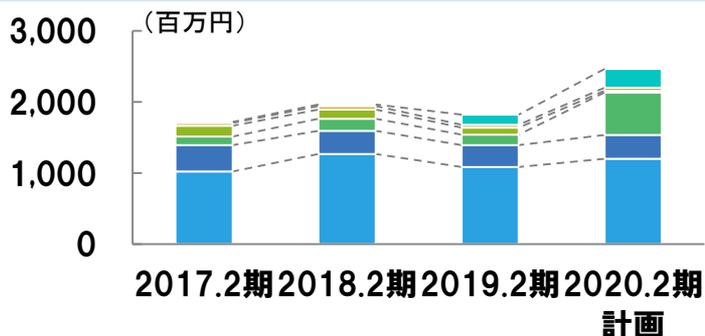
Nコート(合成紙)	食品関連	建材関連	生活資材関連	
	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ① 耐水性(水に強い)がある ② 輝くような白さと光沢感 ③ 高い平滑性と強度 		
	用途	主にボトルラベル、壁紙、タックシール		
	戦略	合成紙の特性を活かし、幅広い分野へ展開		

ラベル



建材関連





中長期目標
Nブランド製品
売上高50億円/年

エンジニアリング部発足による 事業強化とスピードアップ

協力機械メーカーから一部営業譲受により技術者を獲得



印刷機



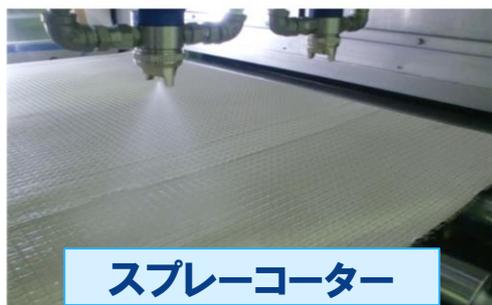
ラミネート機



フィルム延伸機



コーター機



スプレーコーター



スリッター機

機械の自社設計、製造、改造、設備保全が可能

**他社との差別化、お客様要望に対するスピードUP、
初期投資削減が可能となった**

海外事業の拡大

海外事業の拡大(チャイナプラスワン)

第一弾

【滄州中本華翔新型材料有限公司】
2018年4月:新会社の設立と工場建設開始
2019年1月:工場建設完了
2019年3月:機械の試運転開始
2019年6月:本格稼働開始予定

シート印刷事業をコアに早期の黒字化を目指す



廊坊から滄州への生産移管

第二弾

【米国ナッシュビル営業事務所】
2018年7月:米国での営業開始(営業事務所と倉庫1か所)
2019年2月:順調に受注を重ね、倉庫が3か所に増加

自動車内装材、食品包材、機能材分野で新規獲得を目指す



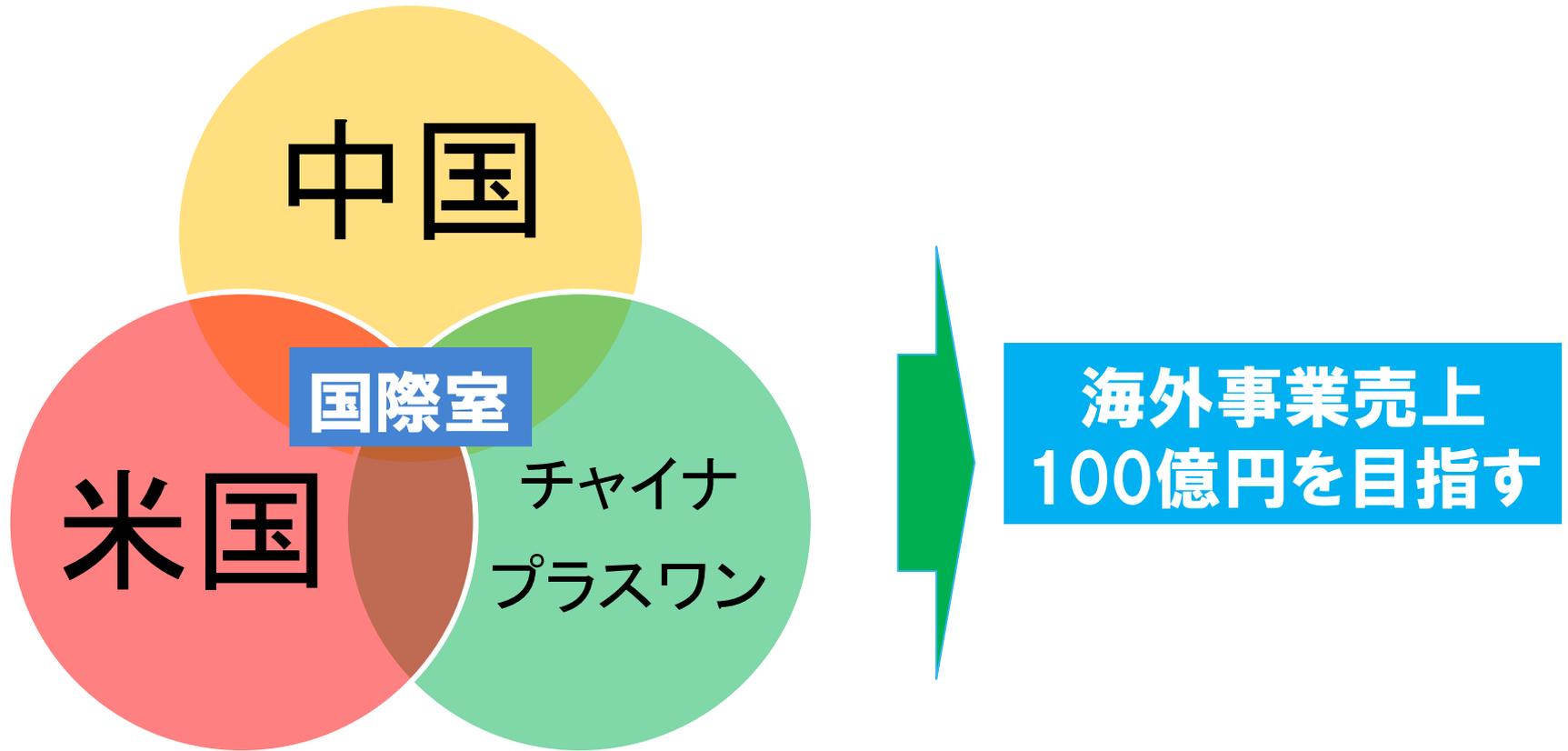
米ナッシュビル営業拠点

第三弾

【チャイナプラスワン、東南アジアを中心に調査開始】

現在情報収集と現地視察を重ねている。
今期中には新会社設立検討を開始する予定。





- 世界の2大大国米国(営業拠点)、中国(工場4拠点、商社1拠点)での商売を増やしていく。
- チャイナプラスワンは成長著しい東南アジアを中心に候補地調査中。

経営基盤の強化

- M&Aの積極活用(新事業、人、物、技術、時間を買い、事業拡大)
- 次期システム導入による省力化、コストダウン、効率化の推進

- M&Aの積極活用
- 基幹システムの刷新を2020年9月に計画
(昨年発足したプロジェクトは順調に進捗中)

☆経営企画室主体でM&Aを検討

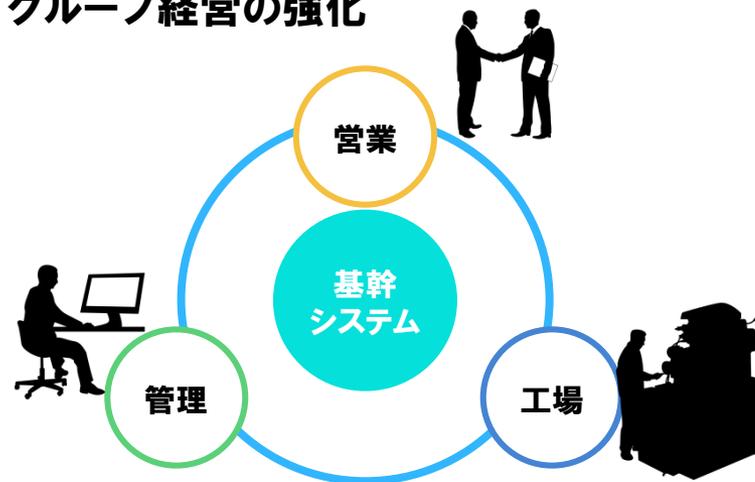
○対象会社

- ・日本国内
- ・既存関連事業
- ・既存補完、効率アップ事業
- ・既存にとらわれない新事業

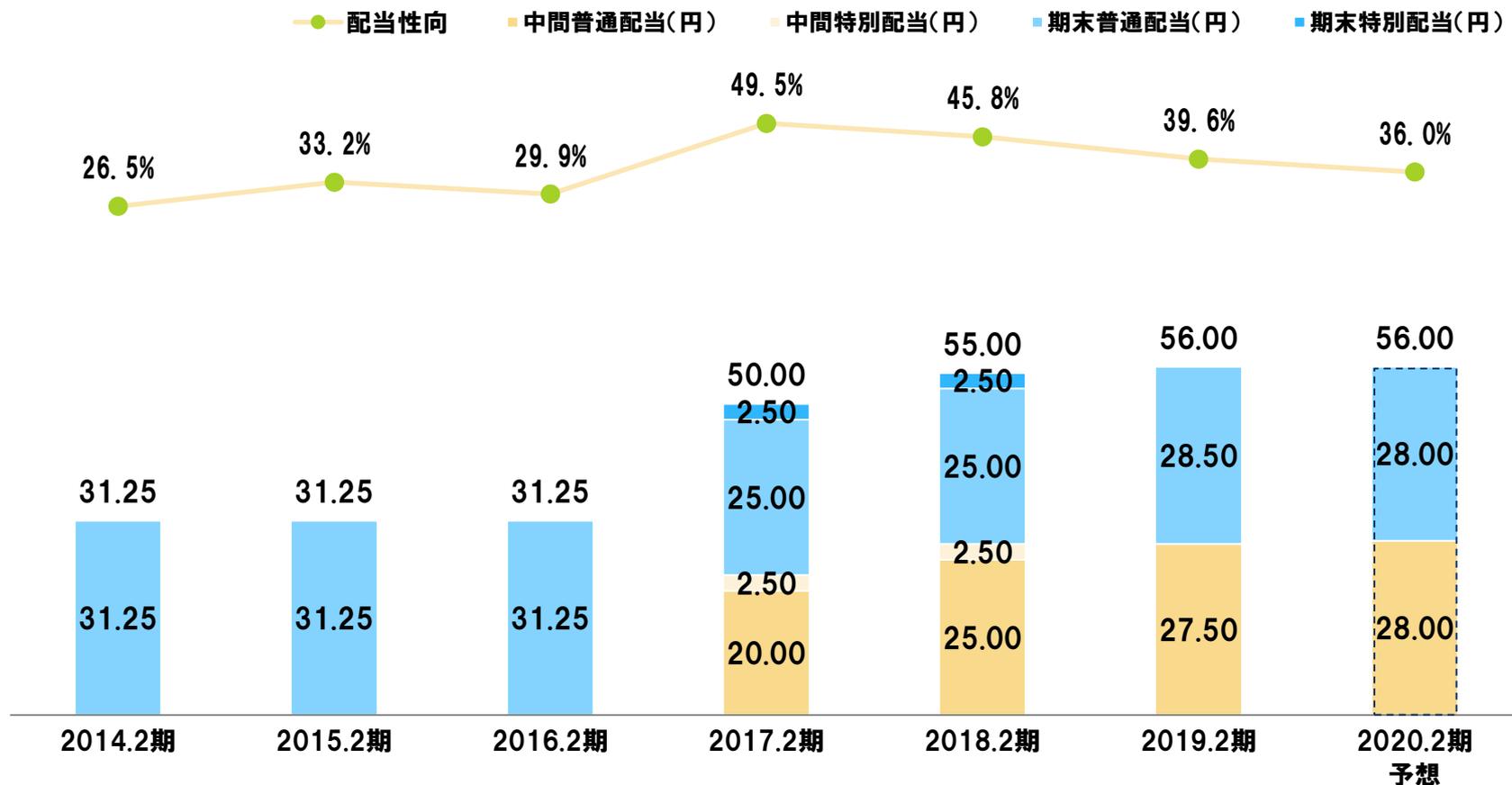
M&Aにより、人材、物、時間、技術を買ひ、
短期間での高成長を目指す

☆基幹システム刷新の狙い (2020年9月目標)

- (現在の基幹システム刷新の方向性【検討中】)
- ・ 経営指標早期把握による経営判断のスピードUP
 - ・ SCMによる効率的な生産と適正在庫
 - ・ データ活用による、営業活動効率化、品質改善
 - ・ 定例業務の見直し、業務の効率化、省力化
 - ・ グループ経営の強化



- 必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を実施していく
- 年間配当56円(中間27.5円、期末28.5円)を予定



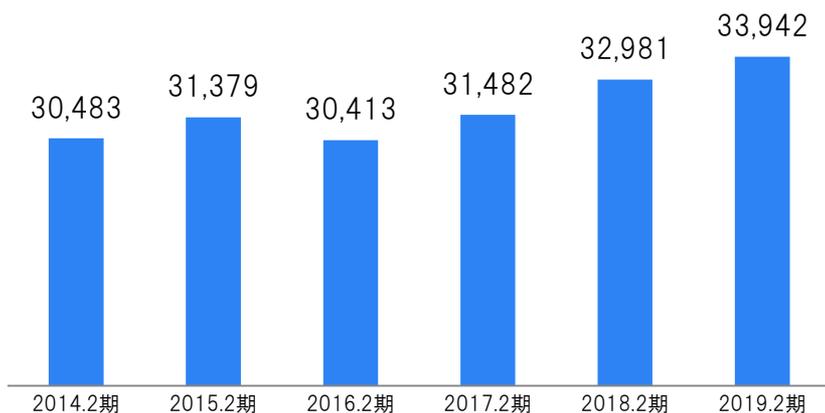
(注) 2015年6月に1対200、2018年3月に1対2の株式分割を実施。1株当たり配当金は遡及修正値



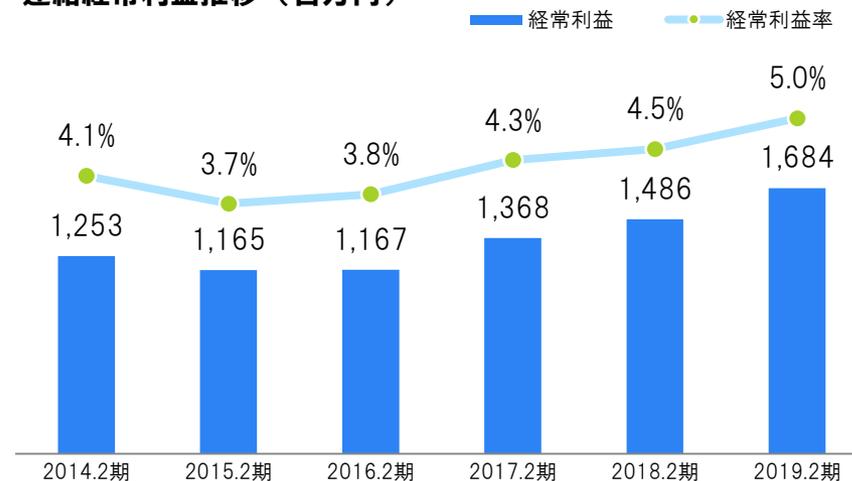
参考資料

業績推移 1/2

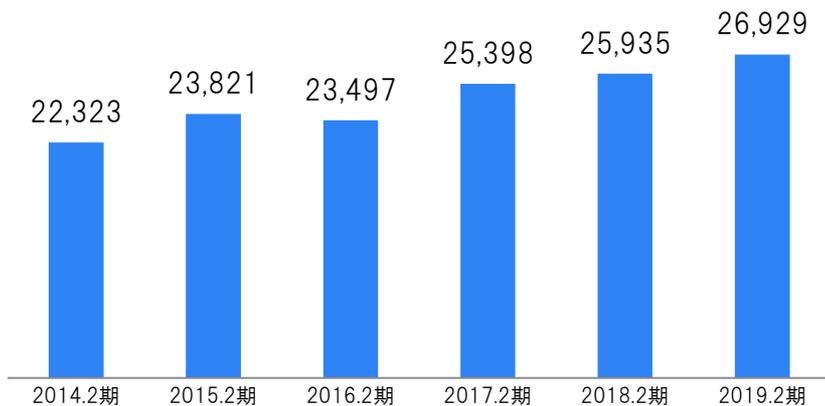
連結売上高推移（百万円）



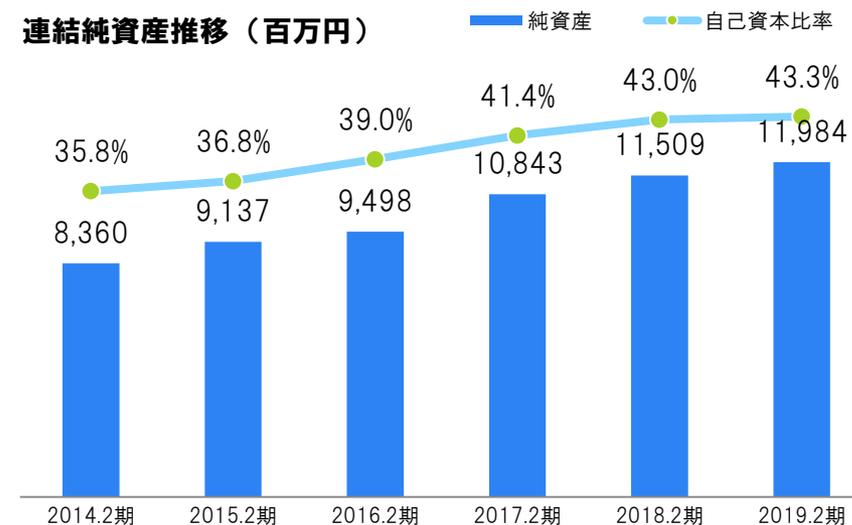
連結経常利益推移（百万円）



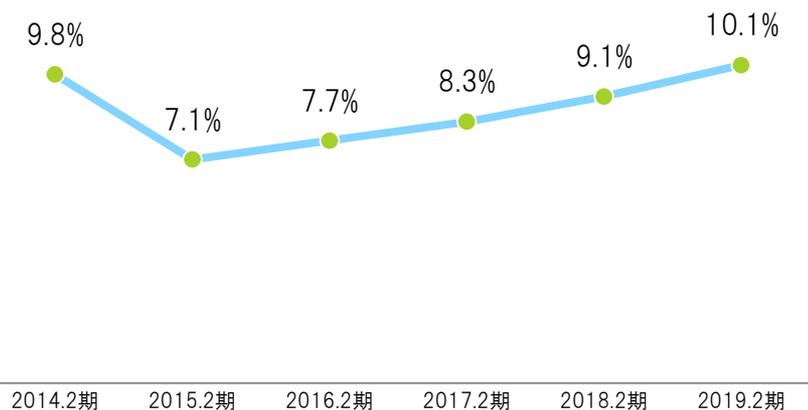
連結総資産推移（百万円）



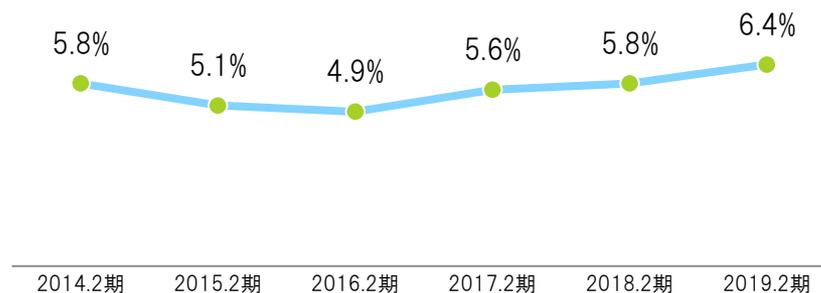
連結純資産推移（百万円）



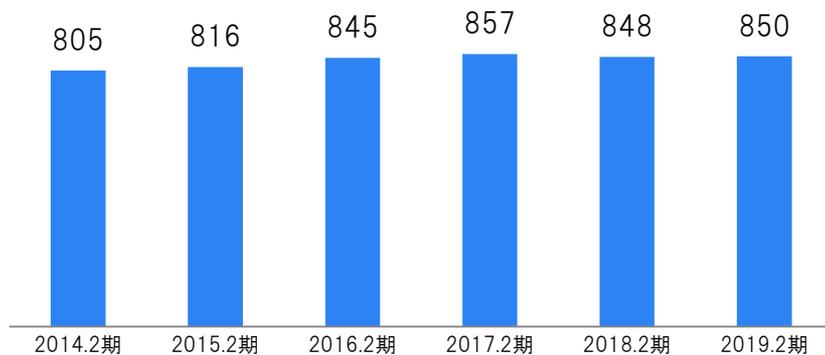
連結ROE推移



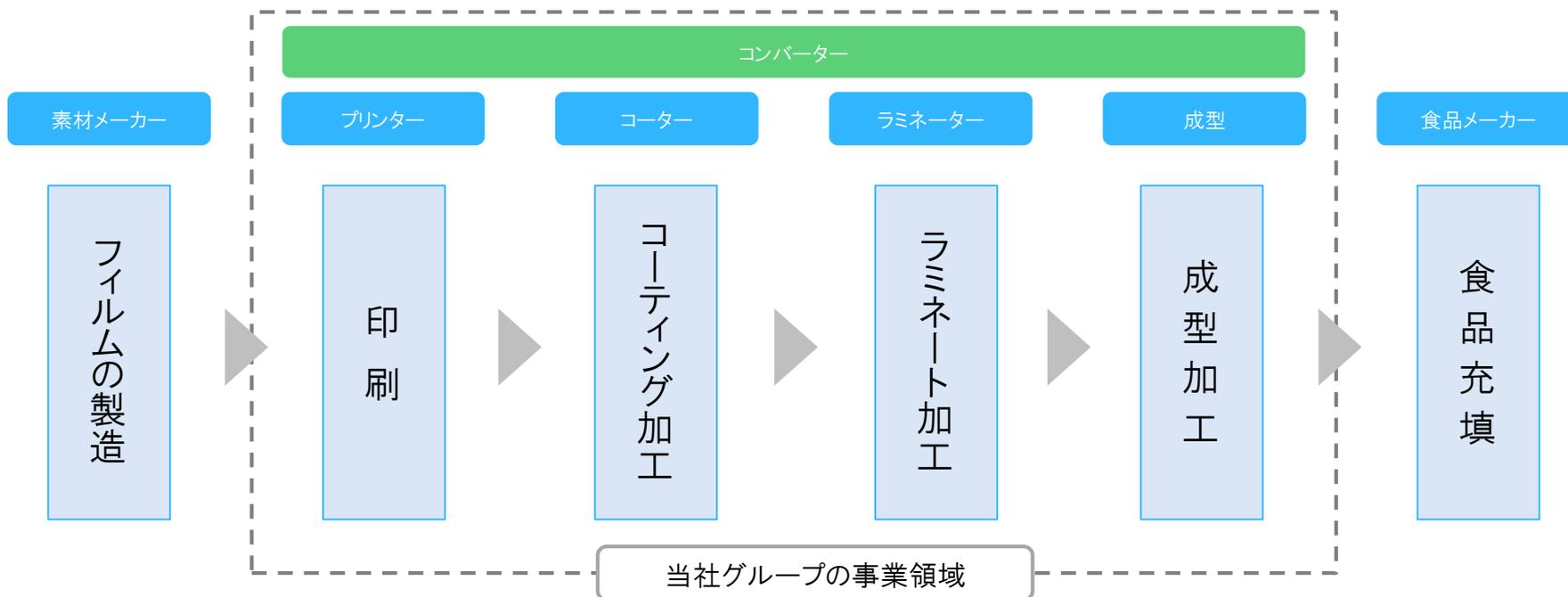
連結ROA推移



連結従業員数推移 (人)



包装材印刷加工のプロセス(例)



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷(印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷)で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工 (ドライラミネート及びサーマルラミネート)	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること(食品用容器、トレー、蓋等)インフレーション法により、プラスチックフィルム及びシートを製膜すること

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン＆セイフティ～”

社是

「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

「誠実と誠意で信用を高めよう」

「忍耐を以って創意工夫をしよう」

「自己を啓発し協調精神を養おう」

「共存共栄を計り社会に貢献しよう」

「技術向上と力闘精神を発揮しよう」

「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」

「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」

「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」

「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」

「私達は感動される仕事とシステムを通じ、より多くの固定ファンをつくります」

「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。

